



愛根とあかねの日記



～一気に書き上げる心の衝動～

愛根#



目次

愛根とあかねの日記	1
-----------	-------	---

愛根とあかねの日記

「愛根はついに、ついに、アイドル宣言をいたしました！！」
私、愛根はブログにブログアイドルになると宣言いたしました。
それは、神様の深い深い愛のみこころによってです！
「よかったですね！ 天のお父様もそれはそれは喜んでい
ことですよ！！」

私の親友であり、背後霊のあかねさんがうなずく。

「でも、何か、余裕ない 何でだろ??」

「牧師からのメールに傷ついているのではないのですか？」

「そう！ それなんだよ！！ 私が編曲した御恵み豊けき
(新聖歌300番)を全く褒めないし！

1ミリも褒めないなんてどうなってんだよ！！

それで私から献金もらうってどういうつもりだよ！！

全くひどい。激おこです☆」

「まあまあ、きっと牧師も悪気があったことですから、
しょうがないですよ (笑)」

「ほんとだよね！ まあ、あんまり……悪くは言えないけど、
私はその、聖書協会共同訳のオーラに傷ついたのでよ TT」

「読むとスランプになる、傲慢になる、聖書が分からなくなるの、
3拍子☆そろった聖書様ですからね。

お慰めいたします☆」

私、愛根はこの教会の教会員と話すたびに心に傷を負い、
そのたびに強くなっていく。

これがローマ人への手紙8：28効果ですよ！！

「神を愛する人たち、すなわち、
神のご計画にしたがって召された人たちのためには、
すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。
ですね

悪いこともいいことも全部プラスに！

それが福音の世界ですね！」

「確かに、プラスになるんだよね～。

失恋も病気も

神様の愛のみこころあつての私たちですからね！」

*牧師先生ごめんなさい。

言いすぎました。

私は文筆家なので、自分の感情はすべて、

書きたいのです☆

「ゴーマニズム宣言たくさん読んでいましたものね。

それが、愛根のスペシャルいいところですよ☆☆」

「欠点も意外と霊的な意味があつて、神様の目から見たら、

全部長所になるのかもね！

例えば、私はへの字の口をしてるんだけど、

調べていくと、上唇を使ってないからだって！

私は上唇を幼稚園の頃、事故で怪我して、

とても痛い思いをした。

それで、使わなくなって、への字になったかもだけど、

それは、私のせいでもないし、それは神様がしたことなんだよ！！

神様の何らかの目的があつて、そうなったんだよ！！

あなたは妊婦の胎内の骨々のことと同様に、

風の道がどのようなものか知らない。

そのように、あなたは一切を行われる神のみわざを知らない。

伝道者の書11:5」

「まあ、仮説ですけどね☆

私たちは阿吽の呼吸です」

「どの夫婦よりも仲がいいかもしれないね！

1つの体を共有する、ツインソウルですからね！！」

「愛根よりいい子はいません☆

私が保証します」

「.....よく分からない.....。」

「一気に書き上げちゃうか！

多分できる、多分！！」

「めんどくさいですもんね！

お気持ちお察しいたします☆」

「コクワティコの幼虫なんだけど、

ダイケアのスタッフさんがいいこと教えてくれたね！

花壇じゃなくって、カブトムシがいる公園に埋めればいいんだよ！！」

「いくら何でも、花壇はひどすぎますね！

でも、ありがたいです.....。」

あれ？ 入れ替わってる??」

「いいよ。別に 気にせず行こう！！」

「前向きな愛根姫 カッコいいです！！」

「おだてるのうますぎい！！
愛根調子に乗っちゃう！」
「私とすれば、いつでもハッピー
愛根に幸せを届けるのが、私の役目ですよ！」
「そうだったのか……、初めて知った！」
あかねさんの愛の深さに驚く愛根なのでした！

「私を書いてもいいですか？」
「え？ あかねさんが？ どうぞ！！」
「まず、愛根のいいところは聖書に忠実なところ。
すべて守ろうと思っている
さりとて、分からないところは守れない。
異邦人たちは、あなたがたと一緒に、
度を越した同じ放蕩に走らないので不審に思い、中傷しますが、
ペテロ第一 4：4 とかね！」
「ああ、そこいくら考えても分からん！
中傷されるほど遊ばないなんて……。
何か他のみことばと合わせて考えて……。」
「この箇所はその通りにすればいいのですよ。
弱い人たちには、弱い者になりました。
弱い人たちを獲得するためです。
すべての人に、すべてのものとなりました。
何とかして、何人かでも救うためです。
コリント I 9：22 とは言っても、
どのみことばも守るべき
一か所を破るなら、その解釈は間違っている。
ですね??」
「……分かったよ。みことばで喜ぶようにすればいいんだね！
それがハッピーってことだね！」
「そうです！ 神様もそれを望んでいることでしょう。」
「遊ぶ時間はどうしても遊びたい時だけだね。
この家はいろいろと修復が必要」
「私は愛根を愛しています。誰よりも。」

「もっと私を書いてもいいですか？」
「え？ 別にいいけど……。」
「神様の愛は偏愛です。
神を愛する人をもっと愛します。」
「え？ そうなの??
平等じゃないの??」

「神はそんな不義理なことは致しません！！
報いる人にはちゃんと報います。
神様の激しい愛に適う方はそんなにいません。
神様はご自分を愛してくれる方がとても大好きです。
余計に愛します。」
「そ、そうだったのか……。
私がちゃらんぽらんだったのか……。」
「愛根は最近、花嫁を捨ててしまって、
神様は嘆かれています。
もう一度戻りましょう！！
花嫁へ！」
「えー、私、男だしい……。
分かったよ。戻る 」
「よしよし。天国へ行ったら愛根にご褒美
それは新しい名前 」
「はー、そうなのか。」

あとがき

さりとして、あかねさんの預言、
放蕩しないようにしようは、
ちょっと間違ってるように思う。
ルカ15章に放蕩息子のたとえがあり、
そこでは、放蕩息子は家から出てしまった……。
私は神様の家から出ていない。
あかねさんは、昔の記憶はないようで、
私の記憶にあることの中の範囲で話す
だから預言も間違ってしまうと思う。
神様は偏愛であり平等。
これも真実だと思う
悲しい現実だと思う。
神様大好き！！ ってしてれば、それでいい☆
神様はいつも私たち一人一人を見てくださる。
神様だけを頼りにしてたら、すべては守られると思う
イスラエルが滅亡したのは、偶像礼拝がいけなかったから☆
神様はいつもあなたのことを見えています☆
傷一つつかないように。

アーメン

2021/10/19

愛根#

ブログ 主イエスの恵みがあなたに 愛根#
<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

聖書 新改訳 2017 12017 新日本聖書刊行会

愛根とあかねの日記

著 愛根#

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
